

”脱”自己流ミラーテクニック ～ビギナーからベテランまで～



磯崎 裕騎

Hiroki Isozaki

医) 愛歯会 いそざき歯科

歯科治療は半閉鎖空間である口腔を対象とし複雑な構造をしている軟組織、硬組織を含む上に、歯冠内部の切削を伴う治療を行うなど極めて特殊な環境下での対応が必要とされる。直視では患者前方からの視線に限られるため必然的にデンタルミラーの使用は避けられない。本来歯科医療には必須なスキルであるにも関わらずその使用方法については従来系統だった教育システムが存在せず自己流がメインであった。1960年代に米国人歯科医師ダリル・ビーチがシステムティックビューなる使用方法を提唱したことでミラーテクニックという概念が生まれた。しかしこれも大学などの教育材料として取り上げられることはまれで一般臨床医の中では未だ自己流がメインストリームである。私は卒後ダリル・ビーチに師事し10年以上に渡り直接指導を受けることができた。私たちは顕微鏡歯科にこのシステムティックビューを応用することで確実な視野を手に入れることに成功し様々な治療に効果を上げている。

今回、日本顕微鏡歯科学会の会員である歯科医師、歯科衛生士を対象としてオリジナルのミラー使用方法に触れて頂き、適切なスキルを身につけて更なる顕微鏡歯科のレベル向上に繋げて頂ければと思う。

なお、お使いであれば低倍率のルーペと日常使用のミラーを持参いただいでよいですが、必須ではありません。

【略歴】

1987年 福岡県立九州歯科大学卒業

同年より HPI 研究所にて研修

1994年 新大阪愛歯科イソザキ診療所開設

同クリニックにおいて Dr. Beach に師事

1999年 いそざき歯科開設

2007年 JAMD 入会

2010年 JAMD 認定医

2018年 JAMD 認定指導医

2019年 デンタルスタディクラブ edge 会長

1987 Graduated from Kyushu Dental University

Trained at HPI Research Institute for 3.5years

1994 Opened Shin-Osaka AI Dental Isozaki Clinic

Studied under Dr. Beach at the same clinic.

1999 Opened Isozaki Dental Clinic

2007 Joined JAMD

2010 JAMD Certified doctor

2018 JAMD Certified Instructor

2019 Chairman of Dental Study Club "edge"